

新

根据2010年新考试大纲编写

N3 级 读解

通关秘籍

主编/李冠男 李晶 姜微 王秀珍



- 以考点为纲 以巧解为本
- 解析新题型 预测新内容
- 横向以题型为篇章 纵向以例练相结合
- 全程把握考题难度 科学预测命题方向
- 一线名师倾力打造 N3 读解通关无忧

日本语能力测试



外文出版社
FOREIGN LANGUAGES PRESS

新

NJLPT

□■□□■□■□□

日本语能力测试

3

级

读解

通关秘籍

主编/李冠男 李晶 姜微 王秀珍



外文出版社
FOREIGN LANGUAGES PRESS

图书在版编目 (CIP) 数据

新日本语能力测试 3 级读解通关秘籍 / 李冠男等主编.

北京: 外文出版社, 2010

ISBN 978-7-119-06456-7

I. ①新… II. ①李… III. ①日语—阅读教学—水平考试—自学参考资料

IV. ①H369.4

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2010)第 092776 号

责任编辑: 刘承忠 王际洲

装帧设计: 佳禾书装

印刷监制: 张国祥

新日本语能力测试 3 级读解通关秘籍

主 编: 李冠男 李 晶 姜 微 王秀珍

©2010 外文出版社

出版发行: 外文出版社

地址: 北京西城区百万庄大街 24 号 邮政编码 100037

网址: <http://www.flp.com.cn>

电话: (010) 68320579 / 68996067 (总编室)

(010) 68995844 / 68995852 (发行部)

(010) 68327750 / 68996164 (版权部)

印 制: 北京海德伟业印务有限公司

经 销: 新华书店 / 外文书店

开 本: 787×1092mm 1/16

印 张: 13

字 数: 380 千字

装 别: 平

版 次: 2010 年第 1 版 2010 年 7 月第 1 版第 1 次印刷

书 号: ISBN 978-7-119-06456-7

定 价: 22.00 元

建议上架: 外语

版权所有 侵权必究 如有印装问题本社负责调换 (电话: 68995852)

前言

日语能力测试(JLPT)是由日本国际交流基金会和日本国际教育协会为全世界的日语学习者设置的一项国际性日语水平考试,参加考试的人数从1984年的7000人左右增加到2008年的56万人,是世界上规模最大的日语考试。

从2010年起,日语能力测试的题型以及考查重点发生了重大变化,考试级别也由原来的四个变为五个:N1(稍高于原来的一级水平),N2(相当于原来的二级水平),N3(相当于原来的二级和三级之间的水平),N4(相当于原来的三级水平),N5(相当于原来的四级水平)。三级的考试题型由原来的“文字·词汇”“听解”“读解·文法”变为“语言知识(文字·词汇)”“语言知识(文法)·读解”和“听解”。考试时长为“语言知识(文字·词汇)”30分钟,“语言知识(文法)·读解”70分钟,“听解”40分钟。分值比例为“语言知识”“读解”“听解”各占60分,总分180分。考试形式仍然延续选择题的形式,暂不加入口语和书写方面的考题形式。

为了配合这次日语能力测试的重大改革,我们潜心研究新考试大纲,准确把握改革动向,为满足广大日语学习者的需要,编写了这本书。本书有以下几个特点:

时效性强:本书编委一直关注着日语能力测试的改革动向,搜集了大量的国内外权威资料,在新的考试大纲公布的第一时间就完成了本套书的编写,内容完全切合新考纲标准。

针对性强:本书以2010年实行的新的日语能力测试中读解部分的考试题型为依据,分为内容理解(短篇)、内容理解(中篇)、内容理解(长篇)、信息检索四章内容,完全符合新版考试的要求,以便更好地帮助学习者熟悉、把握新题型。本书从考查重点、出题方式、设问方式等方面都对其做了全面的分析,让学习者能够准确地把握改革后的考试动向。

深入浅出:本书为每一道题提供了详细的解答方法,能够使学习者很好地掌握考点、难点及易错点,同时总结了各种题型的答题技巧,使学习者能够举一反三。书中还总结了N3读解中易出现的常用词汇,可以帮助学习者更好地备战。

本书在编写过程中,得到了蒋文思老师的大力协助,特此感谢。

我们真诚希望,读者通过本书能够在考前做好充分准备,顺利通过新日语能力测试。

由于编纂工作浩繁,失误在所难免,望广大读者不吝指正。

编者

目 录

● 第一章 内容理解 (短篇)	001
第一节 判断文章内容	003
第二节 意思解释	022
第三节 主题、细节内容	037
● 第二章 内容理解 (中篇)	049
第一节 议论文	049
第二节 解说文	067
第三节 问卷调查	085
第四节 散文	104
● 第三章 内容理解 (长篇)	123
评论性文章	123
● 第四章 信息检索	149
第一节 招募启事	149
第二节 计划表	157
第三节 信件、留言条	172
第四节 邮件	180
第五节 通知、通告相关	189
第六节 其他相关题型	197

第一章: 内容理解(短篇)

综述

改革后的新日语能力测试依然重视考查日语学习者利用语言知识辨别理解文章中心思想以及重要细节的能力,它主要包括以下几个方面:1.理解明确表达的概念和细节;2.理解隐含表达的概念或细节(如:下结论、做判断、进行推论等);3.辨别文章的中心思想;4.理解作者的观点和态度。

在新日语能力测试中,这类题目以“内容理解”的题型出现,通常对是否理解文章中的相关事实,掌握原因、理由以及能否理解在上下文中表达的含义这一点进行设问。

“内容理解”题型在日语能力测试的五个级别中都占有相当大的比重,因此需要对此类问题予以充分重视。该题型从篇幅上可以分为三种,即短篇、中篇、长篇。这三类题型和改革前的日本语能力测试的问题相比,并没有发生太大的变化,因此可以说是形式相对固定的题型。

N3的短篇“内容理解”题型包括生活、工作方面等各种各样的话题,文章的体裁一般是说明、指示类的文章,题目的字数大约150~200字之间。具体形式请参考下面的例题:

問題 次の文章を読んで、質問に答えなさい。答えは、1・2・3・4から最もよいものを一つえらびなさい。

2009年7月15日

さくら株式会社

営業部 御中

ABC株式会社

輸出入部 ヤン・イシイ

拝啓

わが社は、日本のアクセサリーやバッグ、くつなどを過去10年以上アジア各国に輸出しております。

先日、さくら株式会社様のホームページ上にて新しいバッグのカタログを拝見しました。ぜひ輸出を検討したいと思いますので、最新のバッグのカタログと価格表を今月中に送っていただけないでしょうか。

よろしくお願いいたします。

敬具

【問】この手紙の中の会社について、正しいのはどれか。

1. 「さくら株式会社」は、各国輸入したバッグを日本で10年以上売っている。
2. 「さくら株式会社」は、バッグを輸出するかどうか検討し、今月中に返事をする。
3. 「ABC株式会社」は、アジア各国の最新バッグをホームページで紹介している。
4. 「ABC株式会社」は、「さくら株式会社」にバッグのカタログと価格表を頼んだ。

正解：4

短篇の“内容理解”题型篇幅较小，涵盖的信息量不大，因此很少有难度较大的题目出现。新日本语能力测试N3级别的短篇“内容理解”题和以往的读解短文相比有一定的变化。首先是难度的增加：N3级别是新日语能力测试新增加的一个级别，难度介于以往能力测试二级和三级之间，因此难度上比原来的三级要大；其次是题型的设置方面：原来的能力测试三级读解中有一篇短文，问题的数量是3个。从篇幅和形式来看，N3级短篇“内容理解”的题目与此大致相同（问题的数量是4个）。因此练习时从以往的能力测试三级读解入手，逐渐过渡到二级，不失为一个好的学习方法。下面结合历年日本语能力测试的题目以及新日本语能力测试例题对短篇“内容理解”题目加以预测和分析。为了便于练习，在题目的难度设定上将由简入难，文章的体裁也更加多样化。

第一节 判断文章内容

综述

判断文章内容是短篇“内容理解”题目经常考查的项目，新日本语能力测试有关短篇“内容理解”的例题就是一道判断文章内容并选择正确选项的问题。

对于判断文章内容的“内容理解”题目，通常的设问方式是“读下面的文章，回答问题。并从四个选项中选择最恰当的一项”。回答此类问题，首先要通读全文，把握大意，如果只是对文章内容表层意思进行考查的话，只需确认选项中的内容是否与原文的内容相一致或是否是同义表达即可。但是，如果选项中的内容没有在原文中找到近似表达方式的话，就需要对整篇文章进行总结归纳，提炼出中心思想以及文章的主旨，因此需要具备理解隐含表达的概念和意思的能力。

在短篇“内容理解”题目中，有一些问题主要是通过选择与原文中心内容相同的选项来考查能否辨别文章的中心思想和文章的写作目的及情感表达。

一 例题精解

問題 次の文章を読んで、あとの問いに対する答えとして、最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

日本の職場では最近、暑い夏にノーネクタイ（注1）、ノー上着で過ごそうという動きが見られる。これは環境のことを考えて、服装で体感温度（注2）を調節し、冷房に使う電気の量を減らすのが目的である。寒がりやで冷房に悩まされてきた人たちにとっては、いい知らせだと言えるだろう。

ところが、これでその人たちみんなが喜べるというわけでもないのだ。例えば、放送局の中を考えてみよう。放送に使われる機械は暑さに弱いものが多いため、冷房が必要となる。機械のためには、どんなに寒くても人間のほうが我慢するしかないのである。

（注1）ノーネクタイ：ネクタイをしないこと

（注2）体感温度：体で感じる温度

【問】 本文の内容と合っているものはどれか。

1. 環境のことを考えて、放送局で働く人たちは電気の使用量を減らさなければならない。
2. 冷房が強いと壊れる機械のことを考えて、放送局の人は暑さを我慢しなければならない。

らない。

3. 環境を守るために、寒さに弱い人たちは服装で温度を調節して過ごさなければならぬ。
4. 機械を守るために、放送局では冷房をつけて寒さを我慢しながら過ごさなければならぬ。

答题方法解析

正确答案：4

解析：这段短文的内容可以分为两个方面：首先在第一自然段中叙述了日本的工作单位为了保护环境，通过服装调节身体温度，以减少冷气设备的耗电量，这对于因冷气设备而烦恼的人来说是个好消息。接着作者以电视台为例进行了详细的阐述，介绍了由此会引发的问题和解决方法。本段材料的设问点正是在具体事例部分，能否正确分析并把握事例的内容，就成为了本题的关键。由于用于播放节目的机器不耐热，需要冷气设备，因此为了机器，无论多么冷，人们都只有忍耐了。符合这一内容的选项是4，选项1和2的内容在文章中并没有提及，是干扰项。为了保护环境，不只是怕冷的人才必须通过服装来调节温度，因此选项3也不正确。判断文章内容的问题，通常是对文章的细节进行设问，在通读全文的前提下，把握细节以及上下文的关系就显得尤为重要了。

二 追 踪 练 习

問題 次の文章を読んで、あとの問いに対する答えとして、最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)

毎年恒例となっている学園祭が10月20日に行われ、多くの学生や卒業生、その家族でにぎわった。

10時半から古本市や中古CD販売などのマーケットがオープン。

多くのサークルが参加し、盛り上がった。中でもテニスクラブの焼きそば店は、おいしそうな匂いに人気が集まり、1時間で売り切れてしまった。

午後に入ると、学生会館の庭でガーデンパーティーが開かれ、友人同士、先輩、後輩、家族などそれぞれグループになってゆっくり食事。パーティーの後半では、ビンゴゲームやカラオケ大会などの楽しいイベントがあったが、特に手品研究会によるプロ並みのマジックショーは参加者を喜ばせてくれた。

【問】 学生の記事内容と合っているのはどれですか。

1. 学園祭に来たのは学生と卒業生だった。
2. 焼きそばは1時間で全部売れてしまった。
3. ガーデンパーティーは10時半から始まった。
4. 手品は参加者にあまり人気がなかった。

(2)

先週の土曜日わたしははじめて山田さんのお宅に行きました。夜山田さんはわたしのためにパーティーを開いてくださいました。山田さんの奥さんのお友達鈴木さんと山下さんも来てくださいました。山田さんはお子さんが2人います。上の子は女の子で、いまアメリカで留学しているそうです。下の子は男の子です。いま高校生ですが、この日留守でした。奥さんがおいしい日本料理をたくさん作ってくださったし、みんなとても親切で、楽しいパーティーでした。

【問】 本文の内容と合っているものはどれですか。

1. 山田さんは男の子は2人います。
2. わたしは週に一回山田さんの家に行きます。
3. 山田さんの家に行ったとき、山田さんの息子さんは家にいませんでした。
4. わたしが山田さんの家に行ったとき、山田さんの友達も来ました。

(3)

大学への交通案内

北部線利用の場合は、北野駅で乗車し、和田駅で下車(乗車時間は急行で約20分)。駅から徒歩で約13分。和田駅南口からバスを利用すると約5分。「大学裏」で下車。

中央線利用の場合は、西町駅で乗車し新町駅で下車(乗車時間約30分)。駅から徒歩18分。なお新町駅に急行は止まりませんのでご注意ください。

【問】 交通案内の内容と合わないものはどれですか。

1. 大学は北部線の急行で行ける。
2. 大学は中央線の急行で行ける。
3. 中央線を利用すると駅から歩く時間が長い。
4. 北部線を利用すると駅からバスで行ける。

(4)

わたしの町では、月曜日と木曜日に「燃えるごみ」を出すことができます。「燃えるごみ」はスーパーでくれる袋や包装紙、それに肉やたまごのパックなどのことです。「燃えるごみ」を減らすために、山川君の家では、スーパーやコンビニへ買い物に行くとき、買い物

袋を持って行って、店の袋はもらわないそうです。わたしもデパートで何か買った時、店員に「包まなくてもいいです。」と言っています。

「燃えないごみ」は水曜日にだけ出すことができます。「燃えないごみ」には空きかんやびんなどがあります。それらは工場でリサイクルして、もう一度使うことができます。それで、きれいに洗って、分けて出さなくてははいけません。ごみは捨ててしまえばごみですが、リサイクルすれば立派な資源になります。

【問】本文の内容と合っているものはどれですか。

1. びんや空きかんなどのごみは再生して利用することができます。
2. この町ではびんや空きかんなどのごみは肉のパックと同じごみ箱に捨ててもかまいません。
3. この町では火曜日ガラスなどのごみを出すことができます。
4. この人はびんや空きかんなどのごみをきれいに洗って自分の家で使います。

(5)

良子さんは最近アパートを探していました。今のアパートは駅に近いし、家賃もあまり高くないです。しかし、少し困ったことが起きました。先月隣にある大学に通っている学生が一人引っ越してきたのです。その学生が毎晩遅くまでギターを弾くので、よく勉強できません。大家さんに話してみましたが、「音楽専攻だから、仕方がない」と言われてしまいました。同じ家賃のアパートを探しましたが、駅から遠いし、バスも一時間に1本しかありません。お金がないので、もう少し我慢することにしました。

【問】本文の内容と合っているものはどれですか。

1. 良子さんの隣に男の学生が引っ越してきました。
2. ある大学の学生が隣に引っ越してきたから、良子さんはとてもうれしいようです。
3. 良子さんの隣に音楽を習っている大学生が引っ越してきました。
4. 良子さんは毎晩音楽の勉強をします。

(6)

電話は便利です。特に携帯電話は便利です。仕事で使う人だけではなく、大学生や高校生も持っています。しかし、電車の中や教室でベルの音に驚かされるのは困ったことです。それに、一人なのに声を出して笑いながら歩いてくる人を見ると、気持が悪い。手に電話を持っているのがわかると安心します。

前は、出かけようとするときに電話が鳴ると、電話に出ようかどうしようかと考えました。もしわたしが電話に出なければ、かけた人はわたしが留守だと思うのが普通でした。ところが、今は電話をかける人はわたしが家にいるかいないかを考えることはありません。い

つでもどこでもわたしが電話に出られるだろうと思っています。そして、わたしが電話に出ると、「今、どこ」と聞きます。わたしたちは電話から逃げられなくなりました。

【問】本文の内容と合っているものはどれですか。

1. 「わたし」は電話をかけると、まず「今、どこ」と聞きます。
2. 電話をかける人は携帯電話で話しながら、歩いてくる人を見ると、気持ちが悪い。
3. 「わたし」に電話をかける人はいつもわたしが家にいるかどうかを考えてから電話をかけてくれます。
4. 「わたし」は今携帯電話があります。

(7)

山田俊介様

東京は毎日暑い日が続いています。お元気でいらっしゃいますか。そちらでは本当にお世話になり、ありがとうございました。

思い出すと今でも胸がいっぱいになります。まっすぐに伸びた道を思いっきり走ったサイクリング。北海道の空気はとてもさわやかでした。生まれてすぐの牛の赤ちゃんを見たのは初めてでした。命の大切さを改めて感じました。おいしい食べ物でおなかがいっぱいになったバーベキュー。北海道にはおいしい物がたくさんあっていいですね。2週間はあっという間に過ぎてしまいましたが、楽しい思い出がたくさんできました。

親切にいただき、本当にありがとうございました。夏休みが終わったらまた勉強です。日本滞在もあと1年。頑張りたいと思います。

では、またお会いできる日を楽しみにしています。お元気で。

8月18日

ジョン

【問】手紙の内容と合わないものはどれですか。

1. 北海道でサイクリングやバーベキューをした。
2. ホームステイは2週間だった。
3. 生まれてすぐの牛の赤ちゃんを見て、初めて命の大切さがわかった。
4. 山田さんに親切にしてもらって、とても感謝している。

(8)

昨日、学校の帰りに、駅前の花屋で花を買いました。いつもは高いバラの花が、昨日は5本で300円でした。日本では、花がとても高くていつもはあまり買えません。小さいもので1本300円のものもあります。私が「今日は安いですね」と言うと、花屋のおじさんが、「今日は、私の母の命日なんです。」と言いました。わたしは「命日」がわからなかったので、質問すると、「母が死んだ日だ」と教えてくれました。そして、「母はバラが好きだったの

で、今日は、母を思って、お客さんにバラの花をサービスします」と言いました。わたしはそれを聞いてとても感心しました。母にこのことを話したくなったので、今日久しぶりに母に手紙を書きました。

【問】本文の内容と合っているものはどれですか。

1. 花屋のおじさんは昨日花をたくさん売りました。
2. わたしは命日の意味がわかるようになりました。
3. 花屋のおじさんはお母さんの死んだお客さんに花をサービスしました。
4. 日本では花が高いが、わたしは時々買います。

(9)

今日は1日中とてもいい天気で、気持がよかった。

午後から書道部の友達の紀子さんの家遊びに行った。紀子さんの家に行くのは初めてだったので、紀子さんが駅まで迎えに来てくれた。紀子さんの家族は6人で、みんないい人たちだ。私が行ったら、みんな喜んでくれて、いろいろなことをしてくれた。お姉さんは着物の着方を教えてくれたし、弟さんは日本の歌を教えてくれた。日本の歌が少し歌えるようになって、とてもうれしかった。弟さんがビデオを撮ってくれたので、国の家族に送るつもりだ。6時ごろお母さんが作ってくれた晩ご飯をみんなで食べた。とてもおいしかった。9時ごろまで遊んで、帰りは紀子さんの弟さんに車で家まで送ってもらった。今日はとても楽しい1日だった。今度紀子さんの家族がオーストラリアに来たら、いろいろなことをしてあげたいと思った。

【問】本文の内容と合っているものはどれですか。

1. 以前わたしは紀子さんの家に行ったことがあります。
2. 母が作ってくれた晩ご飯はとてもおいしかったです。
3. 今日わたしは初めて紀子さんの家で晩ご飯を食べました。
4. 今日わたしは紀子さんの家族といっしょに写真を撮りました。

(10)

地下鉄に乗っていて感じることは、老人が割合少ないということである。朝夕は通勤のサラリーマン、昼ごろはデパートに通う主婦が多いということであるが、高齢の人は少ない。階段が多いから、足の弱い人には無理なのであろう。一方、バスは老人が多い。外の景色が見えるし、乗り降りが楽だからであらう。時間は不規則であるが、急がない人には問題にならない。その点、地下鉄は地上の混雑に影響されないから、急ぐ人には便利である。

【問】本文の内容と合っているものはどれですか。

1. バスより地下鉄を利用している老人が多いです。
2. 地下鉄は急いでいる人には便利です。

3. バスを利用している主婦は多いです。
4. 老人は足が弱いのでバスに乗るのはたいへんです。

(11)

敬語は、文字どおりだったら、人を敬う言葉ということになる。確かにそのとおりなのだが、われわれは日常、それほど人を敬って過ごしてはいない。いや、われわれはむしろ、人はお互いに平等だという考え方が強い。小、中学校でも、この平等という点に主眼を置いて教えているはずだが、この世に生きるわれわれがみな平等だとは言えないだろう。会社の社長は地位も高く、金持ちで、それに自分よりだいぶ年上だ。

父母は自分を育ててくれた人で、親子という強いきずなで結ばれ、もちろん年上だ。学校の先輩にも頭が上らない。社長と社員、親と子、先輩と後輩、これらの関係は平等とは言えないようだ。たとえ自分のほうが地位が上だとしても、やはり尊敬すべき人がいるだろう。

【問】本文の内容と合っているものはどれですか。

1. 日常生活では、わたしたちは毎日、人を尊敬しなければならない。
2. 人はお互いに平等であるはずだが、実際には平等ではない。
3. 学校の先輩は自分より頭がいい。
4. 自分の地位が上になると、他人を尊敬しなくてもよい。

(12)

試験がやっと終わって、今日は日曜日です。久しぶりに森さんも田中さんも山下さんも外出しました。

デパートに寄った森さんは夏休みが近づいたので、弟を喜ばせてあげようとお土産も買って帰りました。

田中さんは家へ帰ったら、ちょうどお兄さんが出張から帰ってきていました。お兄さんは化学関係の仕事をしていて、一年に二回、上海へ出張することになっています。新しく発行された雑誌とお菓子をお土産にもらって、田中さんは六時過ぎに寮へ戻りました。

山下さんは親類の家へ行ってくると言って朝早く寮を出たまま帰ってきません。普段は元気で明るいのですが、近ごろ青い顔をして元気がないので、田中さんと森さんを心配させています。

【問】本文の内容と合っているものはどれですか。

1. まもなく夏休みです。森さんはデパートで、弟にあげるお土産を買いました。
2. 田中さんのお兄さんは化学関係の仕事をしているのではありません。
3. 山下さんは夜帰らないと言って親類の家へ行きました。
4. ふだん元気のない山下さんはこのごろ、すこし元気になりました。

(13)

東京は本州のほぼ中央にあって、東京湾に面している。東西約90キロメートル、南北約25キロメートルの細長い形をしている。また、伊豆諸島や、陸地から千キロメートル以上も離れた小笠原諸島なども、東京に含まれる。東京は西側から山地になっていて、そこから東側の海までだんだん低くなる坂のような地形になっている。東側にある江戸川、荒川などの河口は川が運んできた土や砂が積もったり、海を埋め立てたりしてきた低地で、「下町」と呼ばれている。東京は西側の山地と東側の低地とでは気温がかなり違い、一般的には東側のほうが西側より温度が高い。

【問】本文の内容と合っているものはどれですか。

1. 東京は東西より南北のほうが長い。
2. 小笠原諸島は陸地から離れた場所だから、東京都に所属しない。
3. 下町あたりは他のところよりやや気温が高い。
4. 下町が「下町」と呼ばれるのは、貧しい人たちが住んでいるからだ。

(14)

日本人が洋服を着始めたのは、明治時代である。当時も、軍隊や警察の制服は洋服であったが、普通の人々はまだ、着物を着ていた。特に女性は、着物の人が多かった。その後、洋服を着る女の方は少しずつ増えていったが、昭和の初めに行われた調査の結果でも、洋服を着ている女性は、二割ぐらいしかいなかった。ほとんどの人が洋服を着るようになったのは、戦後である。現在は、老人でも、普段着物を着る人は少なくなった。明治時代に日本に入ってきた洋服は、このように、百年ぐらいの間に日本人の生活に欠かせないものになった。そして、着る人の少なくなった着物は、正月や成人式、結婚式など、特別な時にだけ着るものになった。

【問】本文の内容と合っているものはどれですか。

1. 現在は普段着物を着ている人はいなくなった。
2. 昭和の初めの調査の結果によれば、洋服の女性は今と比べてずいぶん多かった。
3. 戦後になると、ほとんどの人が洋服を着るようになりました。
4. 今では、洋服は日本人の生活にとって、あってもなくてもいいものになりました。

(15)

時間の進み方は本当に不思議だ。面白いことや楽しいことをしているとき、友達と話をしているときは、時間が過ぎるのがとても速いのに、同じ時間でも授業の時やテレビのコマーシャルの間などは遅いと感じる。また、友達を待たせているときは、時間が過ぎるのが速いし、反対に友達を待っているときは、時間が過ぎるのが遅い。乗り物を待っているときも

そうだ。それに、子供のころと比べて1年が過ぎるのが速くなったような気がする。時間の進み方は本当に不思議だと思う。

【問】本文の内容と合っているものはどれですか。

1. バスや電車を待っているとき、時間が過ぎるのが速い。
2. 面白いテレビを見ているとき、時間が過ぎるのが速い。
3. 友達との約束の時間に遅れたとき、時間が過ぎるのが遅い。
4. 好きな子供と遊んでいるとき、時間が過ぎるのが遅い。

(16)

こうした身のまわりの世界像は、動物でも多かれ少なかれ、持っているはずである。たとえば、私の家のネコも、自分の住む世界をそれなりに把握している。それはどうやらお寺の庭までらしい。そこまで出かけているのは見ることがあるが、それ以上先では、見かけたことがないからである。このネコを抱いて、ネコの知っているらしい範囲から出ようとする、手のなかで暴れ出し、飛び降りて逃げてしまう。

【問】ネコの世界像について述べた以下の文の中で、正しいものはどれか。

1. ネコは世界像を持たず、生活する範囲はかなり広い。
2. ネコも世界像を把握しているが、その外側でも生活できるようだ。
3. ネコにも世界像が存在し、ほぼその中だけで生活しているようだ。
4. ネコは世界像を持っていないが、行動範囲はある程度決まっている。

(17)

学歴が重視される社会になったが、高い学歴を持つ人が仕事がよくできるとはかぎらない。勉強をして、本に書いてあることや教授の話すことが分れば、ある程度の成績で大学を出ることはできるが、実際の仕事は卒業してから職場で覚えるのが、これまでは普通であった。最近は大学にいる時から職業を経験する機会を作るところが多くなった。ときに高校でもインターンシップといって職業の経験をする場合がある。

【問】本文の内容と合っているものはどれか。

1. 高い学歴を得るためには読んだり聞いたり勉強が必要である。
2. よい成績で大学を出てから職場で実際の仕事を覚えるのがよい。
3. 高校でインターンシップをしてから大学で学歴を得るのがよい。
4. 大学や高校で知識を与えるだけでなく仕事を体験させるようになった。

(18)

今春の新入社員は、労働時間の短縮や休日増よりも賃金やボーナスのアップを会社に期待

する人の割合が高くなっていることが22日、社会経済生産性本部（東京）などの調査で分かった。会社に期待することは「賃金やボーナス増」が45.5%（前年比3.8ポイント増）で、「労働時間の短縮と休日増」の39.9%（同3.7ポイント減）を1971年の調査以来、初めて上回った。

【問】文章の内容と合っているものはどれか。

1. これまでも今年も、労働時間の短縮より、賃金を多くもらうことを重視する社員の方が多い。
2. これまでも今年も、賃金を多くもらうことより、労働時間の短縮を重視する社員の方が多い。
3. これまでは、賃金を多くもらうことを重視する新入社員が多かったが、今年は、労働時間の短縮を希望する社員の方が多かった。
4. これまでは、労働時間の短縮を希望する新入社員が多かったが、今年は、賃金を多くもらうことを重視する社員の方が多かった。

(19)

今やモノ持ちは自慢にならず、家の中がごたごたとモノにあふれている様子は、賢い暮らし方をしていない証明にもなったりする。

こうして人々の関心は、モノを買ったり所有することから、スポーツや外食などを「するコト」に向かう。つまり体験とかカネを使うことに、より大きな価値を見出す。目に見えるものから目に見えないものへ、あとに残るものからその場で消えるものへ関心が移っていく。ただし、楽しいことやいい気分させてくれるコトに限る。

実際のところ、たとえば豪華なインテリアや家具、ブランド物の衣服よりも、海外旅行やオペラ鑑賞のほうがリッチだと思う人は増えている。

（栗田房徳「『遊び』の経済学」による）

【問】文章で筆者が述べていることと合わないものはどれですか。

1. モノを買うより楽しい体験に喜びを感じる人が増えている。
2. モノをたくさん所有することを自慢する人が少なくなっている。
3. モノが家にたくさんあるので、カネを使うことへの関心がなくなっている。
4. モノを買ってモノを所有する喜びが薄れてきている。

(20)

ほんの一昔前まで運動中に水を飲むことは、よくないとされていました。かなり長時間の厳しい運動でも水を禁止していたのです。水を飲むことで疲労が増し、胃腸にも悪い、という「理由」でしたが、実は根性（注）論がその背景にあったのです。安易に水を飲むようで